

2022年7月4日

各 位

EPS ホールディングス株式会社 代表取締役 巖 浩
株式会社 EP 総合 代表取締役 山本 賢一
EPS インターナショナル株式会社 代表取締役 早川 智久

台湾 SMO TTMC 社の株式譲渡に関するお知らせ

EPS ホールディングス株式会社（以下、EPSHD）の 100%出資子会社である EPS インターナショナル株式会社（以下、EPS インターナショナル）は、その 100%出資子会社で台湾にて SMO 事業を展開する Total Trial Management Consulting Co. Ltd.（全面顧問股份有限公司、以下、TTMC）の全株式を EPSHD の 100%出資子会社で日本国内で SMO 事業を展開する株式会社 EP 総合（以下、EP 総合）に譲渡することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式譲渡の目的

EPS グループは創立 30 年を迎えた昨年、MBO（マネジメント・バイ・アウト）を実施し、「新しい EPS」に向けて動き出しております。本再編はその取り組みの一つとなります。

TTMC は台湾における SMO として、創業以来これまで 20 年以上に渡り地域に根付いたサービスを提供してまいりました。これまでは TTMC を海外事業の一環とし、Global Research セグメントに位置づけ、EPS インターナショナルの子会社として運営してまいりました。

EP 総合は、日本における業界トップの SMO として医薬品、医療機器、再生医療等製品に関して医療機関が実施する治験、製造販売後臨床試験等を支援していますが、同社が保有する経験やノウハウを共有し、シナジー効果を発揮することで TTMC を発展させることを目的として直接の子会社とすることといたしました。

例えば、国内の SMO 事業において、DCT（Decentralized Clinical Trial）の普及が始まり、またコロナ禍により遠隔でのカルテ閲覧に対するニーズが急激に高まるなど、SMO を取り巻く事業環境が大きく変化しております。EP 総合ではこのような環境の変化に対応すべく、次世代型リモート SDV^{※1} システムである「SYNOV-R」の開発など積極的にソリューションを創出しているところです。他国と比べて日本と医療の制度や環境に近い台湾の SMO 事業においても、EP 総合の保有するノウハウを活用できることが期待されます。

※1 リモート SDV：医療機関外（遠隔地）からカルテ、ワークシート等の原資料を直接閲覧し、提出されたデータと原資料の記録を照合し、検証すること。

譲渡対象会社の概要

名称	Total Trial Management Consulting Co. Ltd. (全面顧問股份有限公司)
所在地	8F, No.560, Sec 4 , Zhongxiao E. Road, Xinyi Dist. Taipei City 110, Taiwan (R.O.C.)
代表者	平澤 滝宏 (董事長)
従業員数*	25 名
資本金	15 百万台湾ドル

※2022 年 7 月現在

2. 今後の予定

本株式譲渡は、EP 総合および EPS インターナショナルにて詳細を協議のうえ株式譲渡契約を締結し、2022 年 8 月上旬に株式を譲渡する予定です。

以上

本件に関するお問合せ先

EPS ホールディングス株式会社 広報室 pr@eps.co.jp